しんめいばら

回　覧

第 226 号
2024.2.20

公園整備！

二月十一日（日）暖かい朝を迎え、連休の初日でしたが会員十三名の参加により整備作業を行いました。今回はシャガ（射干）やプリムラジュリアンの苗を花壇に植栽、先月に引き続き大量に溜まった落ち葉の収集、花壇の除草や潅水、溜枡の清掃などを行いました。新型コロナやインフルエンザが再度流行の兆しが見られる中での活動でしたが、会員の皆様には積極的な参加をいただき、作業終了後にはいつものようにお茶とお菓子をいただきながら楽しい話に花を咲かせました。

今朝は暖かいね！

綺麗な花壇が出来ました！

大量の落ち葉の収集は大変です！

豆知識！

『使える、日本の花』

園芸の世界では外国の花を植えるのが盛んですが、日本の花（在来種）は、私たちの感性に合っているといえます。神明原公園にはキキョウ、ヒオウギなど、昔から日本にあった花がありますが、野山に自生しているシャガが今年咲くでしょう。他にも花壇に合う日本の植物には。アヤメ、ノハナショウブ、ノコンギクなどもあり、チダケサシはアスチルベという名で売られています。明治維新のころ、日本を訪れた外国人が農家の藁ぶき屋根の上にイチハツが植えられていたと、日本人の花好きを紀行文に書いています。アヤメ科のイチハツは中国原産ですが、この話は園芸の国日本の面目躍如（めんもくやくじょ）のエピソードだと思いませんか。日本原産の植物はまだまだ使えるといえます。余談ですが、外来植物ニワゼキショウ、ネジバナは芝生の中によく見られます。これらがいつどこから芝生にやって来るのかわかりません。不思議です。芝生を張ったあとには、いつの間にか居座っています。ニワゼキショウ、ネジバナは雑草というには愛らしすぎます。

今日の公園！

色も鮮やか！

お知らせ！

○ 三月の公園整備は十日（日）です。園内清掃、花壇整備、施肥、潅水などの作業を行います。

○ 三月の回収、ビン・缶は二十六日（火）、古紙は二十四日（日）です。自治会の回収活動にご協力下さい。

○ 高松神明原公園愛護会は現在二十一名の会員により公園の美化活動に取り組んでいます。自治会員に限らずどなたでも入会が出来ますので、ぜひご参加下さい。

連絡先・一三七-五一八一　山本まで